

Supply Chain Management (SCM)

1. モジュール情報

- 1) モジュール名: Supply Chain Management (SCM)
- 2) 対象者: 会社経営者、会社管理職、起業希望者
- 3) 参加費用: 3.800.000 VND/人、ONLINE BY ZOOM
- 4) 期間: 3日間 X 6時間 = 18時間
- 5) 達成目標: 企業の経営に関わる経営者及び製造会社と販売会社のサプライチェーンに関わる管理職のサプライチェーンマネジメントの全体概念の理解。SCM構築のための知識習得。具体例での説明による理解促進。

2. モジュールの概要

SCMはSupply Chain Managementのことを指す。非常に重要な経営の進め方であり、SCMは経営資源をバランスよく使って利益の最大化に資するものであり、経営そのものといっても差し支えない。その実施に当たってはPDCAを効率よく実施しながら、全体最適を求めるものである。

3. 講師の情報

上東幸次 (Koji Uehigashi) 1981年にパナソニック社に入社し、2015年に退職するまで34年間勤務。
現在は、JICA 専門家として、モンゴル、カンボジア、ミャンマー、キルギスの日本センターにて研修講師を行っている。

2015年～現在 JICA 専門家 研修講師 【マーケティング】【SCM】【店舗管理】【経営シミュレーション】
【中小企業の日本型経営】【松下幸之助 経営理念】

パナソニック人材開発会社 マーケティング研修所 主管講師
パナソニック本社 リサイクル事業推進室 リサイクル法制担当参事
パナソニック・フィリピン 副社長

パナソニック アジア大洋州営業所 新興市場（ベトナム、ミャンマー他）課課長
 台湾松下 ディ스플레이機器営業所長
 パナソニック AVC 社 ディ스플레이モニター事業部 海外課課長
 米国パナソニック社 ハワイ営業所長

4. シラバス

日程	コマ	項目	講義内容
一日目	午前 3時間	(1)SCM とは何か？ (2)物流は競争力を生むインフラである	SCM は、企業活動を円滑に進めることを全体的に支える仕組みであり、単なる物流の合理化ということではない。 SCM で会社業績が大きく変わった会社を取り上げ、具体的に何が変わったかについて解説する。 スピード感は経営成果を左右する。頭が分かっているでも体がついてこないようにスピード感を持った経営でなければ経営成果は望めない。競争力を持つインフラとして物流システムをいかに確立するか。
	午後 3時間	(3)SCM は販売計画からスタート (4)需給計画作りがとても重要	PDCA を効果的に回すためには Plan が非常に重要である。SCM の場合、販売計画が最重要の Plan となる。 販売計画をどのように精度高く策定するかについて解説 需給計画の建て方と PSI（Production, Sales, Inventory）管理の進め方
二日目	午前 3時間	(5)SCM をスムーズに進める生産計画 (6)調達計画とサプライヤーの管理	製造業では、需給計画を見て生産計画を立てることになる。 生産計画を立てるうえでの重要点について解説する QCD (Quality, Cost, Delivery)の鍵を握るのがサプライヤーであり、関係構築や JI、VMI といったシス

日程	コマ	項目	講義内容
	午後 3時間	(7) 実行業務のスピードが競争優位を生み出す (8) SCM の領域は拡大していく	テム作りについて解説。 受注から出荷までの時間を以下に短縮するかについて取り組むべき課題について バランススコアカードの導入や SCM 管理指標の見える化
三日目	午前 3時間	(9) SCM の課題	ERP と SCM を補完させながら運用する サービスパーツの供給で顧客を囲い込む
	午後 3時間	(10) SCM 構築のためのポイント	SCM を成功させるための6つのステップについて SCM はマネジメントであって、オペレーションではない